

中央大学 人文研 公開講演会

「先史時代における日本海域交流」

主催：中央大学人文科学研究所共同研究「島と港の歴史学チーム」

2015/1/31（土曜） 13:00-16:00

中央大学 多摩キャンパス 2号館4階 研究所会議室2

問い合わせ先 中央大学小林謙一 kobayashikenichi22@gmail.com

<内容>

「先史時代における環日本海北部地域の文化交流と社会変容」

國木田 大（東京大学大学院人文社会系研究科）

環日本海地域北部における先史時代の文化交流と社会変容に関して発表を行う。本地域では、縄紋／新石器時代の石刃鍬石器群、続縄文／古金属器時代、オホーツク文化の時期に明瞭な交流が確認されている。本講演では、文化交流や変遷に関して、近年の日露共同考古学調査や、自然科学分析の具体例を挙げ紹介してみたい。

「隠岐諸島産黒曜石の利用からみた先史時代の日本海域交流」

及川 穰（島根大学 法文学部考古学研究室）

本発表では、島根県隠岐諸島島後に産出する黒曜石の利用状況に着目し、日本海域の人々の交流について取り上げる。

まず、島内の黒曜石の産出状況と地質学的な特徴について取り上げ、原産地の状況を紹介する。

次に、山陰地域を対象として、旧石器時代から縄文時代、そして弥生時代へと通時代的に黒曜石原産地の開発状況と周辺地域での石器への利用状況を捉え、各時代・時期の交流の特質にせまる。